

若者育成支援事業

25年度補正予算予定額 約35億円



- 若者の数が減っているにもかかわらず、ニート(※1)の数は近年、60万人超で高止まり。
※1 ニートとは、15～34歳で、非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者
- ニートの若者が、将来生活保護に陥ることのないよう、経済的に自立させ、社会の支え手とすることが必要。
- このため、地域若者サポートステーション(「サポステ」)において、地方自治体と協働し(※2)、

※2 地方自治体から予算措置等

- ①一人一人に応じた専門的な相談やコミュニケーション訓練、職場体験等
- ②学校と連携した中退者支援等、
- ③若年無業者等集中訓練プログラム事業(一部のサポステで実施)
等、地域ネットワークを活用した就労支援を実施。(H18年度～。若者支援の実績・ノウハウのあるNPO法人等が実施。)

